

# これからの野洲川 今後の取り組み

## 「おいで野洲川アップグレード50」

野洲川の10年後の未来を見据えて、野洲川放水路通水40周年を契機として、今後も持続可能な維持管理をめざし、地域の活性化、防災力向上のための事業を展開していきます。

### ～おいで野洲川アップグレード50プラン～

- 河川防災ステーションの整備
- かわまちづくり整備
- 管理用通路の整備
- 水ビジョン等整備
- 維持管理の持続化企画

### 地域の活性化への取り組み

「かわまちづくり支援制度」により、河川空間とまち空間が融合した良好な空間の形成に向けて取り組んでいきます。



いかだ下り（イメージ）



親水公園の整備（イメージ）

### 防災力向上への取り組み

野洲川周辺の野洲市域において唯一浸水しないエリアに河川防災ステーションを整備するなどして、防災力の向上に向けて取り組んでいきます。河川防災ステーションは、洪水時には地域住民の避難場所として活用でき、広域的な復旧支援の基地となることが期待されます。また、野洲川では洪水時に特化した低コストの危機管理型水位計を設置しており、よりきめ細やかな河川水位を把握し、避難勧告等の発令や住民の避難に役立つ水位情報を提供できます。



河川防災ステーションの整備（イメージ）



守山市川田町地先  
(野洲川左岸6.8km付近)



危機管理型水位計の活用（イメージ）

お問い合わせ 国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所  
〒520-2279 大津市黒津4丁目5-1 TEL 077-546-0844  
<http://www.kkr.mit.go.jp/biwako/>

2019年3月作成

# 野洲川放水路通水40周年 「これまで」と「これから」



野洲川放水路は1979年（昭和54年）6月2日に通水式が行われてから、2019年でちょうど40周年です。

かつて、洪水が頻発し『近江太郎』と呼ばれた野洲川も、野洲川放水路の完成により近年は大きな水害に見舞われることなく、人々の暮らしに「安全」と「安心」をもたらしてきました。

通水から40年経過した、野洲川放水路の「これまで」の歴史や現在の状況、そして「これから」の取り組みと今後の水防災に対する備えについてご紹介します。

- 野洲川の歴史・・・1～2
- 現在の野洲川・・・3～4
- 現在の取り組み・・・5～6
- これからの野洲川・・・7



国土交通省近畿地方整備局  
琵琶湖河川事務所

# 野洲川の歴史

## 繰り返される野洲川の洪水

### 「近江太郎」と呼ばれた暴れ川

野洲川は、古来より「近江太郎」とも呼ばれる暴れ川であり、周辺に住む人々はたび重なる洪水氾濫のため多大な被害を受け続けてきました。野洲川の氾濫の発生を文字にとどめている最初の文献資料は、1503年（文亀3年）6月の氾濫を記す野洲市比江の長澤神社の『縁起大略』で、野洲川の濁流に境内の長澤池が呑まれ、本殿が川に没したとあります。過去の文献によると1503年（文亀3年）から明治まで堤防の決壊による野洲川の被害は少なくとも35回は発生しており、平均するとほぼ10年に1度の割合の発生率になります。1868年（明治元年）からも野洲川放水路が建設されるまでにも水害が発生しており、小規模のものを含めると4年に1度の割合で水害が発生していたこととなります。

**1896年9月**  
(明治29年9月)  
(台風・前線)

<被害状況>  
死者4名  
全壊・流出754戸

<県下では>  
死者29名  
全壊・流出3,000戸



**1953年9月**  
(昭和28年9月)  
台風13号

<被害状況>  
死者3名\*  
全壊・流出63戸

\*洪水時に旧野洲川で水防作業中に堤防決壊により3名が殉職されている

<県下では>  
死者20名  
全壊・流出311戸



屋根裏まで土砂に埋まる惨状（中洲村新庄（現守山市））



南流左岸堤決壊による洲本地先の浸水状況（現守山市洲本町）



野洲川北流堤防の決壊現場（現野洲市六条） 出典：「野洲川の歴史と文化」水害碑一覧

### 苦難を今に伝える水害碑

これまで幾度となく大きな水害に見舞われた野洲川下流域には、身近に残る水害の記録として石碑が随所に建てられ、今なお水難の記憶を人々に伝えていきます。また、複数の神社では水害の被害にあり、境内に再建された経緯が記載された由緒書などがあります。



守山市笠原町

罹災水害	碑名	場所
1896年（明治29年）9月7日	明治二十九年水災水位碑	野洲市吉川
	明治二十九年水災水位碑	守山市新庄町
1913年（大正2年）10月3日	水災記念碑	守山市笠原町
	水災記念碑解説板	同上
	城野曹長之碑 野洲川の被害が生んだ知恵「奉公袋」（城野曹長解説板）	守山市笠原町順教寺 野洲川改修記念公園（守山市新庄町・笠原町）
1953年（昭和28年）9月25日	殉職者故辻川川十郎・岩崎九二夫・野洲英三碑	野洲市井口
	殉職碑沿革	同上
1965年（昭和40年）9月18日	故一等陸尉土善夫君頌徳碑	守山市今浜町

# 現在の取り組み 防災への取り組み

## より災害に強い野洲川と今後の起こりうる災害に備えて

2015年（平成27年）9月関東・東北豪雨などを受け、「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」へと意識を変革し、社会全体でこれに備えるため、ハード・ソフト一体となった「水防災意識社会再構築ビジョン(水ビジョン)」として水災害を想定した安全なまちづくりを実現するために、流域内の関係自治体と意見交換等を行い、洪水氾濫による被害を軽減するための対策に取り組んでいます。

### 「野洲川地域安全協議会」の設立

野洲川周辺の関係自治体と意見交換を行い、洪水氾濫による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進することを目的に、「野洲川地域安全協議会」を2018年（平成30年）5月10日に設立しました。本協議会では、野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針（案）を確認しました。

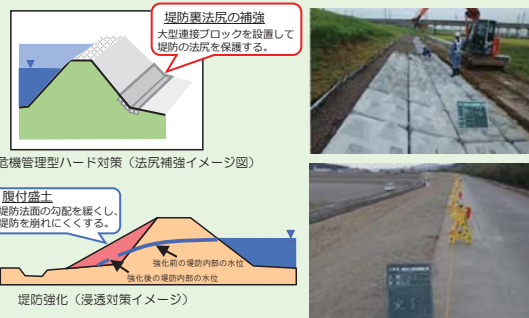
- 目標達成に向けた3本柱
- 1 逃げ遅れをなくすための避難行動、  
長期的な避難のための取組
  - 2 確実な避難時間の確保、  
浸水被害軽減のための水防活動の取組
  - 3 生活再建、社会経済活動を  
一刻も早く回復させるための復旧活動の取組



【野洲川地域安全協議会HP】 <http://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/bousai/kyougikai.html>

### ハード対策の主な取り組み

河川水等の浸透に対して、堤防の浸透対策を実施しています。また堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばすため、法尻補強の工事も実施しています。



危機管理型ハード対策（法尻補強イメージ）

### ソフト対策の主な取り組み

リアルタイムの野洲川の様子の情報提供を行ったり、野洲川が氾濫した場合の状況を説明し、地域の防災力に寄与しています。



野洲川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

### ソフト対策の主な取り組み（防災教育の支援）

学校と連携し防災教育に関する支援を行っています。



平成27年度、平成29年度に発生した台風による被災状況について野洲川河川敷での説明（栗東市葉山小学校）

# 現在の取り組み 維持管理の取り組み

## 安全・安心が持続可能な河川管理

野洲川では、当時の放水路を維持するために、必要に応じて河床掘削や樹木の伐採等を実施しています。

### 河道内に堆積した土砂の撤去

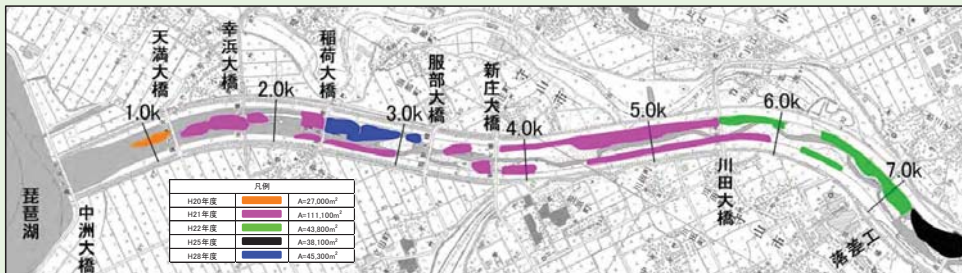
洪水を河川内で安全に流すために、河道内に堆積した土砂を撤去しています。



落差工下流部の河道内堆積土砂を撤去

### 洪水の流下を阻害する樹木群の管理

構造物に損傷を与える恐れのある樹木や、川の流れを妨げている樹木を伐採しています。また、公募による伐採や伐採後の樹木の提供も実施しています。



樹木伐採範囲（平成20年～平成28年）



洪水の流下を阻害する樹木群の伐採

**募集中！ 野洲川の樹木を自分で伐採・採取して利用しませんか？**

伐採した樹木はDIY材料、ストーブの薪やキノコ栽培などに、さまざまなものにご利用いただけます。  
 申込・参加費は2月10日～3月31日（予定）で、参加費は10,000円～11月15日までに、自ら（任意）で参加費の半額を返すことで返却されます。  
 ※お申し込みにより返却する料率については募集要項が掲載されています。

**樹木の利用例**

- 薪ストーブや薪ストーブの燃料
- DIY材料として
- 薪ストーブの薪
- 薪ストーブの薪
- 薪ストーブの薪
- 薪ストーブの薪

※参加費の半額を返すことで参加費が半額になります。返却方法は、お申し込みの際に詳しく説明いたします。お申し込みの際は、お申し込みの趣意を記載してください。

※薪ストーブの薪は、お申し込みの際に詳しく説明いたします。お申し込みの際は、お申し込みの趣意を記載してください。

※薪ストーブの薪は、お申し込みの際に詳しく説明いたします。お申し込みの際は、お申し込みの趣意を記載してください。

野洲川の樹木伐採の公募

# 野洲川の歴史 野洲川放水路事業

## 新しい時代の幕開けを告げる大工事

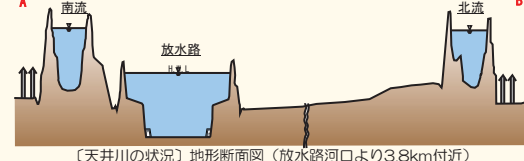
1953年（昭和28年）9月の水害をきっかけに、洪水ごとに災害復旧工事を繰り返すのではなく一定の計画によって野洲川を根本的に改修し安心できる川にしたいという願いが地域住民のあいだで高まり、1954年（昭和29年）に関係の13町村によって野洲川漏水対策期成同盟（のちに野洲川改修期成同盟会、野洲川改修促進協議会）が結成されました。その後、滋賀県を含めた国への働きかけと関係機関との協議の結果、1958年（昭和33年度）から国の直轄事業として調査が開始され、1963年（昭和38年）に野洲川改修の全体計画が策定されました。その後、用地問題や移転先などについて何回もの話し合いを経て、1971年（昭和46年）12月9日に改修工事が開始されました。工事は、8年の歳月をかけて行われ、1979年（昭和54年）6月2日に野洲川放水路通水式が挙行され、南流と北流に代わる新しい野洲川に水が流れ始めました。

### 野洲川放水路計画

100年に1度起こりうる大洪水を対象に4,500m<sup>3</sup>/sの河道を建設することし、堤防法線幅330m、低水路幅210m、高水敷幅両岸52mの河道を計画、7.2kmの取付部には、3.5mの落差を有する床止を設ける計画を行いました。



野洲川放水路計画（平面図）



（天井川の状況）地形断面図（放水路河口より3.8km付近）

### 地域住民の反対

放水路建設により移転を強いられる中洲地区の5集落では、「野洲川改修中洲地区貫通反対期成同盟」を結成し建設反対を唱えました。その後、数々の紆余曲折を経ながらも起業者、滋賀県、郡、町の努力が実を結び、野洲川改修絶対反対から条件付話し合いに移行し、1971年（昭和46年）に野洲川改修起工式を挙行するまでにいたりました。



立入測量に対する地元住民の反対

### 集落の移転

野洲川放水路の建設に伴って、移転を余儀なくされる集落があり、新庄の川辺全戸と小浜の2軒及び神社が移転することになりました。1972年（昭和47年）3月31日に川辺・小浜の対象民家は、それぞれ移転先に移住を完了しました。



野洲川南流堤防から望む移転前の新庄の川辺集落（1971年（昭和46年）5月撮影）

### 野洲川放水路の通水

1971年（昭和46年）12月に守山市中央公民館で起工式を行ってから約8年間、関係機関、地元関係者の協力を得て工事も順調に進み、1979年（昭和54年）6月2日盛大に野洲川放水路通水式が挙行されました。守山市川田地区の野洲川左岸高水敷において修築式および現地通水式が実施されました。



通水が待たれる野洲川放水路（1978年（昭和53年）3月撮影）

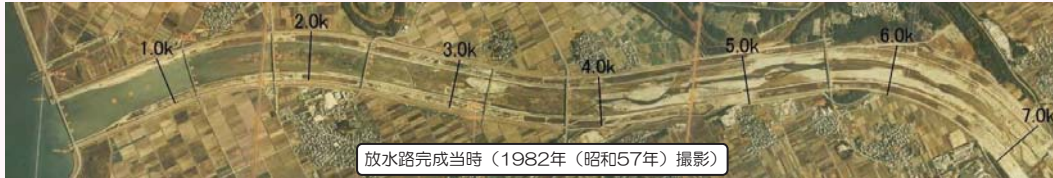


新しい野洲川に流れだした一番水（1979年（昭和54年）6月2日10時43分）

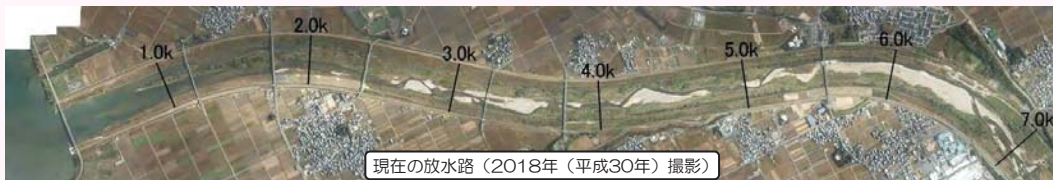
# 現在の野洲川 野洲川放水路の今

## 40年の時を経ても変わらぬ野洲川放水路の姿

現在の放水路は、深く掘れたり土砂がたまってきているものの、平均的な河床の高さは、放水路完成当時と大きく変化はしていません。

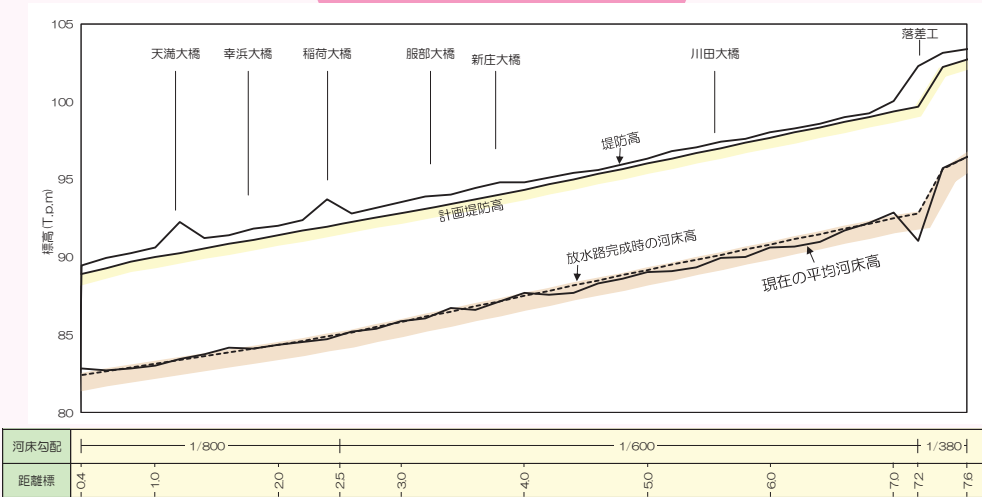


放水路完成当時（1982年（昭和57年）撮影）

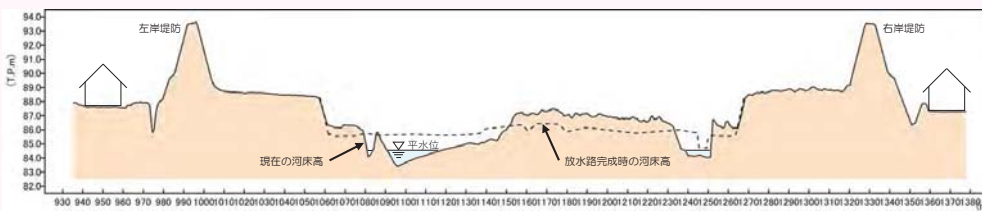


現在の放水路（2018年（平成30年）撮影）

### 河道形状の変化



放水路完成当時と現在の平均河床高



放水路完成当時と現在の河床形状（3.0k）

# 現在の野洲川 安心と憩いをもたらす野洲川放水路

## 野洲川に夢をつむぐ

1979年（昭和54年）に野洲川放水路ができ、沿川のリバーサイドタウンの建設や、野洲川改修記念公園や野洲川運動公園が整備されてきました。広い河川敷そのものが人々の憩いの場になっており、大規模なイベントも定期的開催されています。



野洲川のリバーサイドタウン



野洲川運動公園



イオンタウン

### 旧野洲川周辺の変化

旧野洲川の跡地は農地や憩いの場として利用が進んでおり、周辺にはショッピングモール等ができ、新しいぎわいが生まれています。



野洲川歴史公園（ビッグレイク）



ビエリ守山



第一なぎさ公園

### 1,000万人の生活を守る「琵琶湖」の魅力を高める河川整備

野洲川は地域と連携して「ピワイチ」の「よりみちコース」としての活用を視野に、管理用通路やかわまちづくりを実施することにより、地域の活性化・健康増進に寄与していきます。また、管理用通路は、災害時には関係市の避難ルート等にも活用します。



野洲川地域安全懇談会資料